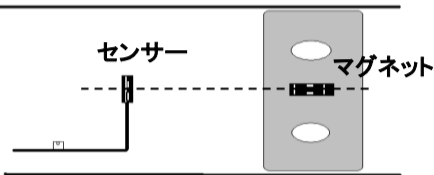


# cox box®

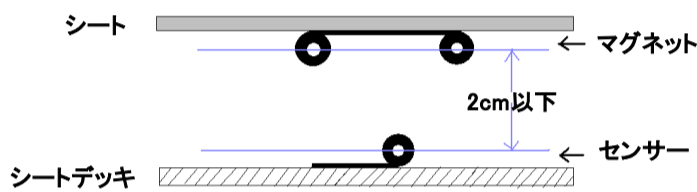
取扱説明書

## 設置方法

- ① カップブラケットを船体内にネジまたはマジックテープなどで取り付けます。
- ② スピーカーを、付属のネジで船体内に固定してください。  
トップボックス4+の場合Sと3番の間、8+の場合は1個をBと2番の間、もう1個を5番/6番の間が一般的です。
- ③ スピーカーケーブルをつなげた後、船体内に這わせスピーカーと接続します。  
ケーブル側のスピーカー接続部へはシリコングリスを塗布しておいてください。  
なお、スピーカーケーブルは下記の3種類あります。  
A+/本体、スピーカー1個用 M/スピーカー増設用 R/レート用
- ④ センサーとマグネットを以下の要領のもとデッキ上に設置してください。



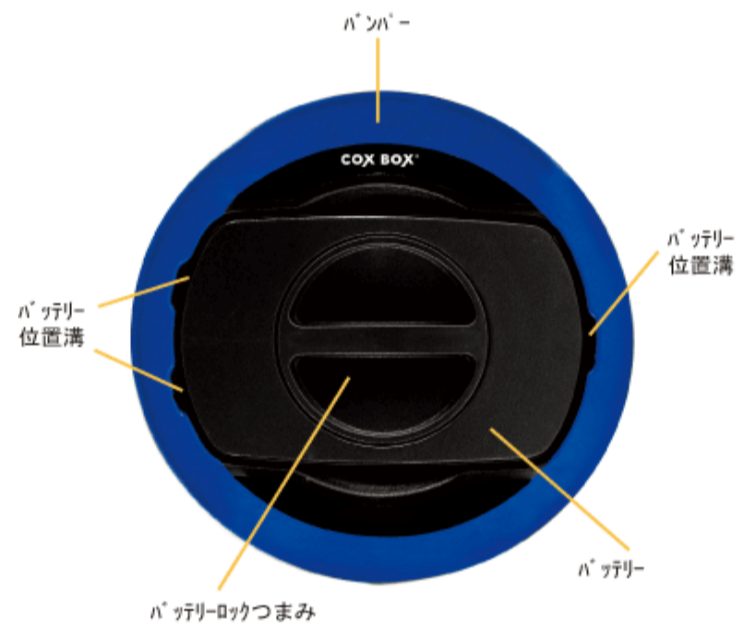
センサーの取り付けは、デッキ上のシート可動域の真ん中から若干ストレッチャーよりの位置に取り付けます。付属のアルコールシートで接着面の汚れを取除き、両面テープを剥がし取り付けしてください。



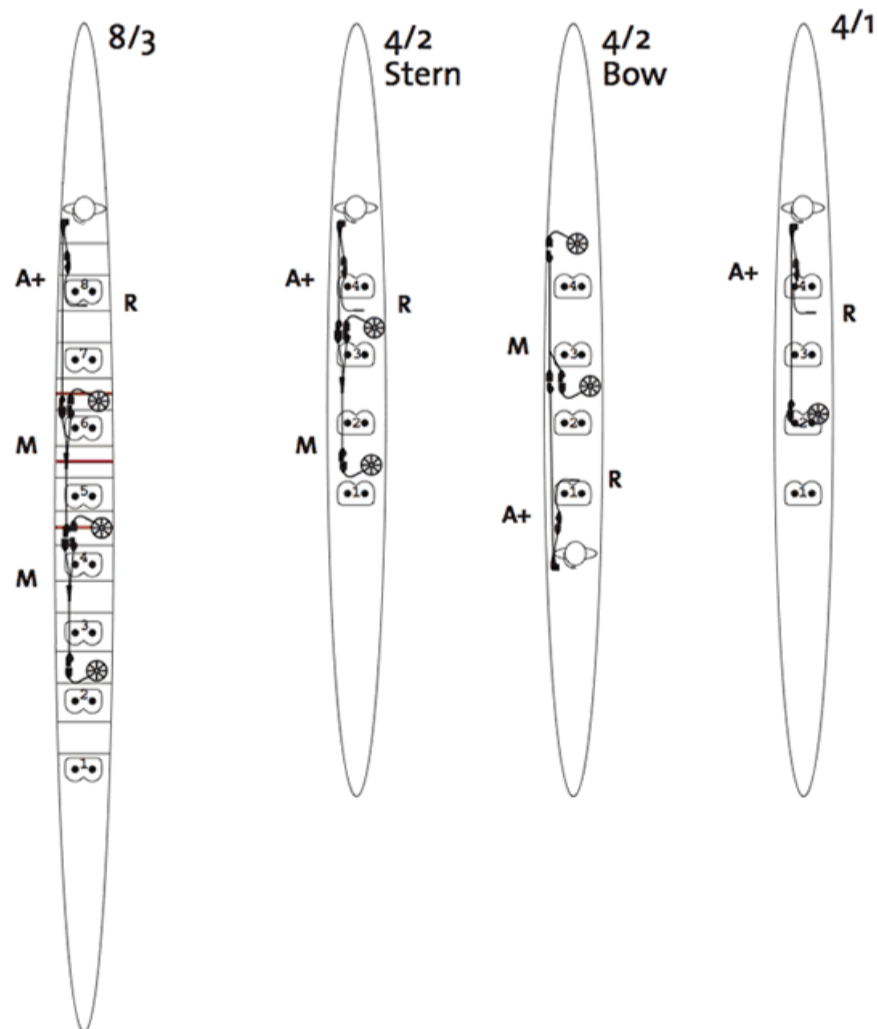
マグネットは、センサーとの間が2cm以下になるようシート裏側に固定してください。ボックス本体にスピーカーケーブルを接続しシートを動かしてみても問題なくセンサーが反応するか(本体が作動し、タイム・ピッチおよびカウントが表示されるか)ご確認ください。稼動しない場合、マグネットとセンサーの間隔をケーブル調整してください。

- ⑤ コックスボックス本体を船体内に固定したカップブラケットへ挿入しフックをカップブラケットに引っ掛けて固定してください。
- ⑥ マイクとスピーカーケーブルを本体に接続してください。
- ⑦ 上記にて準備完了です。本体のボリュームつまみをまわしてクルー全員にコックスの声が届くように音量の調整を行います。

## 各部名称



## 設置例



## 基本的な操作方法

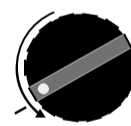
### 電源のON/OFF

アンプのボリュームを上げると電源がはいります。電源を入れたときタイマーと本数は"STOP"していますが、レートは動作します。電源を切るときはアンプのボリュームをカチッというまで下げてください。

＜電源ON＞  
まわす



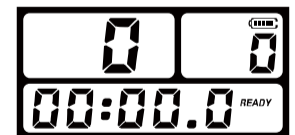
＜電源OFF＞  
かちっというまで  
まわす



### 計測する



ボタンを押して『READY』の状態にしてください。







漕ぎ始めるとタイマーと本数が計測されます。タイマー、レートおよび本数は止まるまで動作し続けます。タイマーは59:99.9 までいくと0に戻ります。本数も999までいくと0に戻ります。レートは約60分の間10秒ごとに自動的に記録されます。




このボタンを押すと、いつでもストップと再スタートができます。止めた時間はsplitとして記録されます。

メモリの呼び出し

-  このボタンを押すと保存されたメモリを見ることができます。(このときタイマーは止めてください)。
-  メモリ再生(手動)・・・リコール画面でどちらかボタンを押すと10秒ごとに保存されたタイムとレートを見ることができます。
-  メモリ再生(自動)・・・リコール画面でこのボタンを押すと保存されたメモリが自動的に再生されます。
-  長押しするとリコール画面が終了します。

※ レートは瞬間的な記録が蓄積されており、平均の値ではありません。

メモリのリセット

-  このボタンを長押しすると記録は消去され、タイマーも0に戻ります。消去されると画面に"CLear"と表示されます。

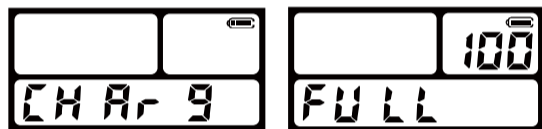


バッテリー

バッテリー残量は下のマークで示されます。満充電の状態では約4時間作動します。(音声の使用時間・音量によって使用時間は異なります)



完全に使い切ったバッテリーをフルに充電するには9.5時間ほどかかります。□右のような画面でフルに充電が完了した状態です。



充電は過充電防止仕様にはなっていますが、充電器を接続したままの状態では置いておくことは避けてください。バッテリーの寿命が短くなります。また、バッテリーは約300回の使用を繰り返すと交換が必要になります。

●バッテリーの交換

バッテリーは本体底面のバッテリーロックを解除することで取り外しができます。新しいバッテリーは、本体内側の溝とバッテリーの突起が必ず合うように入れてください。閉めるときはカチッと音がするまでバッテリーロックを回してください。



エラーメッセージ

バッテリーの電圧や温度、充電時間などが限度を超えると下のような表示が出ることがあります。リセットするためにはバッテリーを入れなおしてください。



それでもエラーが出続ける場合には弊社へ郵送してください。

メンテナンス

コックスボックスは1ヶ月に1回程度メンテナンスをしてください。



- ① 使用するときや持ち運ぶ際は、コネクタ部分が過度に曲がらないようにしてください。使用後はマイクをはずして保管してください。



- ② ゴムプラグ内の汚れや錆をドライバーなどで取り除き、ソケットの中にナイオジェル(別売)を挿入してください。



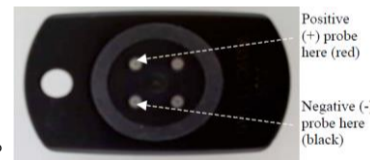
- ③ シリコングリスを綿棒のようなものを用いて、ゴムプラグ表面に薄く膜ができるくらい塗ってください。マイクプラグおよびスピーカー接続プラグの着脱がスムーズになります。



- ・バッテリーと本体の接続部分が万が一濡れた場合は、故障の原因となりますので、よく乾かしてからご使用ください。
- ・充電器をつないだまま、3日以上放置しないでください。
- ・バッテリーは水に浮かびません。落とさないように注意してください。
- ・マイクやスピーカーケーブルを抜き差しする時は、プラグ部分をねじらないようにご注意ください。断線の原因となります。抜き差ししにくい場合は、シリコングリスを塗ってください。
- ・マイクを保管する時は、ケーブル部分を折りたたまずに保管するようにしてください。断線の原因となります。
- ・プラグ部分が破れたまま、使用しないで下さい。
- ・60℃以上の場所で保管しないようにしてください。
- ・充電中はCOXBOXからバッテリーを取り外さないでください。
- ・海水域で使用された場合は、使用後に本体を真水で洗い、良く乾燥させてください。
- ・長時間、大雨にさらした場合は、内部に浸水する恐れがありますのでご注意ください。
- ・湿気やほこりの多いところで保管しないようにしてください。

トラブルシューティング

- 充電完了の画面が出ているのにバッテリーが充電されていない  
再起動する必要があります。Cox Boxの電源を入れて24-36時間置き、バッテリーを空にします。それから8-12時間かけてフルに充電してください。それでも直らない場合はCox Boxとバッテリーを弊社まで送ってください。検査および修理を致します。
- 音声がでない  
マイク、または配線が断線していることがあります。他のマイクや配線につなぎかえてみることで、故障箇所を特定することができます。マイクやケーブルが原因の場合は、新しいマイクまたはケーブルをご購入ください。
- バッテリーのエラー  
他のCOXBOXをお持ちであれば、バッテリーを交換し、経過をみてください。バッテリーを入れ替えてエラーが解消される場合は、バッテリーに問題がある可能性が高いです。他のバッテリーを入れてもエラーが起きたりバッテリーの寿命が短いのであれば、Cox Boxの充電回路または他の電気回路に問題があると考えられます。
- バッテリーの寿命が疑われた場合  
電池電圧は右図で示されているようにマルチメーターを用いて2つの電極で検査できます。電圧は完全に充電された状態で12.6V、半分充電された状態で11.1Vになるはずですが、Cox Boxは9V以下では動きません。  
※Cox Boxを充電しているときに'recall/memory' ボタンを押すと電池電圧を見ることができます。おおよそのバッテリー容量に対応する電圧は上記を参照してください。  
Cox Boxを15分以上充電してから'store/split' ボタンを押したとき、'80' と表示するとエラーが起こりそうな状態、'0b' が表示されるとバッテリーが寿命、'0F' と表示されるとバッテリーの寿命を監視している状態です。
- 充電できない  
バッテリーチャージャーに問題がないか確認してください。正常な場合、使用中にチャージャーが若干温かくなります。
- 雑音が入る  
マイク、またはスピーカー部分の断線の可能性があります。他のマイクと交換して、確認をしてください。



製造・販売

製造元

Nielsen-Kellerman  
21 Creek Circle · Boothwyn, PA 19061, USA



販売店

桑野造船株式会社  
〒520-0357 滋賀県大津市山百合の丘10-1  
TEL 077-598-8090 FAX 077-598-2505 kuwano@k-boat.co.jp